



## 連結業績の概要 2017年度第3四半期

2018年2月1日

チーフ フィナンシャル オフィサー  
ジェームス・キーホー

## 重要な注意事項

### 将来見通しに関する注意事項

本資料には、見積り、予測値、目標値及び計画値等の、当社の将来の事業、財務状態及び経営成績に関する「見通し情報」が含まれています。これらの見通し情報は、「目指す」、「予測する」、「仮定する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「予想する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「見通し」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「試算」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」及びその類義語（これらに係る否定的な表現も含みます。）等の将来予測に関する用語の使用、又は戦略、計画若しくは意図に関する議論により特定可能な場合があります。

本資料中のあらゆる見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の現時点における仮定及び判断に基づいています。かかる見通し情報に関して、当社及び当社の経営陣は将来の業績に係るいかなる保証もするものではなく、また、当該見通し情報には、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要素が含まれています。そのような要素の例としては、日本、米国及び世界全体の一般的な経済情勢を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競争圧力及び競争の激化、適用法令、新製品開発計画の成否、規制当局の決定及びそのタイミング、為替相場の変動、製品又は開発品の安全性や有効性に関するクレーム又は懸念、並びに買収対象会社との経営統合等がありますが、これらに限定されるものではなく、またいずれかの要素に起因して、当社の実際の業績や財務状態が、見通し情報により表示又は示唆されている将来の業績や財務状態から大きく乖離する可能性があります。当社及び当社の経営陣は、見通し情報において表示されている予測が現実となることを保証するものではなく、実際の業績は予測と大きく異なる可能性があります。

本資料に含まれる見通し情報は、本資料の日付時点のものに過ぎず、今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社及び当社の経営陣は、本資料に含まれる見通し情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

### 製品情報に関する注意事項

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、製品を宣伝・広告するものではありません。



## 重要な注意事項

### 免責事項

本プレゼンテーションは、タイジェニクス社の有価証券の買付申し入れを意味するものではなく、また、いかなる国または地域においても、同社の有価証券の売却、議決権の行使、または賛同に関する勧誘を意味するものではありません。当社が公開買付けを通じてタイジェニクス社の有価証券の買付けの申し入れを行うことを決定することがあるとすれば、それは、ベルギー金融サービス市場局（FSMA）に承認された買付申込書および米国証券取引委員会（SEC）に提出された公開買付書に基づく場合に限られます。本プレゼンテーションはこれらの申込書や買付書を代替するものではありません。現在までに、いかなる国または地域においても、本公開買付けを行うのに必要な手続きはとられておらず、当社が公開買付けを行う決定をする前に、かかる手続きがとられることはありません。本プレゼンテーションまたは本プレゼンテーションの記載事項に関するいかなる情報も、当該情報に関して登録、認可その他の義務が課されるまたは課される可能性のある国または地域において、提供されることはありません。かかる制限に違反した場合には、当該国または地域における財務関連の法規違反にあたる可能性があります。当社、タイジェニクス社およびその両社の関係会社は、かかる制限に違反した者に対するいかなる責任も明示的に否認いたします。

### 米国投資家の皆様への重要な追加情報

本プレゼンテーション記載の当社による任意の本公開買付けは未だ開始されていません。本プレゼンテーションは、情報開示目的のためだけになされるものであり、タイジェニクス社のいかなる有価証券の買付けの申込みや売却の勧誘、推奨を意味するものではありません。任意の公開買付けが開始される場合には、タイジェニクス社の投資家の皆様におかれては、SECのウェブサイト（www.sec.gov）にて公開される申込み書類をお読みいただきますようお願いいたします。その際には、2種類の申し入れが行われますが、1つ目は、ベルギーの関係法令に基づき、後述の米国預託証券を除くすべてのタイジェニクス社の発行済みの議決権付株式および議決権を取得できる有価証券（以下「本有価証券」）に対する買付け申込みで、2つ目は、米国の関係法令に基づき、Deutsche Bank Trust Company Americasを預託機関として発行された米国預託証券（以下「ADSs」）の保有者様および本有価証券を保有する米国居住中の保有者様への買付け申込みになります。

米国における本公開買付けは買付け申込みおよび関連資料によってのみ実施されます。米国における本公開買付けの開始時に、当社は、SECに対してスケジュールTOに関する公開買付届出書を提出する予定であり、当該届出書の提出後に、タイジェニクス社が米国における本公開買付けに関するSchedule 14D-9に関する勧誘書類・推奨書面を提出する予定です。

米国における本公開買付けの対象となっているタイジェニクス社のADSsおよび本有価証券の保有者様が米国における本公開買付けへの参加を希望される場合には、米国における本公開買付けの条件を含む重要な情報が含まれていますので、当社がSECに提出する関連書類を熟読いただきますようお願いいたします。同様に、上記の保有者様におかれましては米国における本公開買付けに関しタイジェニクス社からSECに提出されるSchedule 14D-9に関する勧誘書類・推奨書面もお読みいただきますようお願いいたします。SECへ提出された後は、これらの書類は、当社またはタイジェニクス社がSECに提出したその他の書類とあわせて、SECのウェブサイト（www.sec.gov）にて無料で入手可能です。買付申込書や他の公開買付書、勧誘書類・推奨書面に加え、タイジェニクス社は報告書や他の情報をSECに提出する予定です。タイジェニクス社によって提出された報告書や他の情報はSECのパブリックレファレンスルーム（100 F Street, N.E., Washington, D.C. 20549.）にて閲覧謄写が可能です。パブリックレファレンスルームに関する詳細はSECにお電話ください（1-800-SEC-0330）。タイジェニクス社によるSECへの提出書類は民間の資料検索サービスおよびSECが管理するウェブサイト（www.sec.gov）にて入手可能です。



## 業績は引き続き好調に推移し2桁台の利益成長

### ● 優先事項の着実な進捗

- Grow Portfolio （事業ポートフォリオの成長）
- Rebuild Pipeline （研究開発パイプラインの再構築）
- Boost Profitability （利益率の向上）

### ● 売上と利益の力強い成長

- 実質的な売上収益 +6.7%
- 実質的なCore Earnings +32.8%
- 実質的なCore EPS +25.8%

### ● 営業フリー・キャッシュ・フローは+25.1%の1,521億円、ノン・コア資産の売却により、さらに1,429億円のキャッシュを創出

### ● 年間のガイダンスを上方修正、実質的なCore Earningsの対売上収益比率は約300bpsの向上を見込む



## 優先事項の着実な進捗

<b>Grow Portfolio</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実質的な売上収益は+6.7%、成長ドライバー+14.5%が牽引</li> <li>• 主力製品の力強い売上実績</li> <li>• 消化器系疾患領域におけるリーダーシップ強化に向けて、任意の公開買付けを通じてタイジェニクス社を買収する意思を表明</li> </ul>
<b>Rebuild Pipeline</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 革新的な開発課題の推進（pevonedistatのPh-3ステージアップをはじめ、2017年度はこれまでに13の新規候補物質がステージアップ）</li> <li>• 2017年度にバイオテック企業/アカデミアと33件の新たな提携</li> </ul>
<b>Boost Profitability</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実質的なCEは+32.8%、対売上収益比率は+390bps</li> <li>• EPS（財務ベース）+45.5%、実質的なCore EPS +25.8%</li> <li>• 実質ベース、財務ベースの2017年度見通しを上方修正</li> </ul>

5 成長ドライバー：消化器系疾患領域、オンコロジー（がん）領域、ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域および新興国事業  
CE: Core Earnings 武田薬品工業株式会社



## 財務ベースのEPSは45.5%伸長、Core Earningsの成長と減損損失の減少、一時的な収益の増加を反映

### 2017年度第3四半期累計 損益計算書（財務ベース）

(億円)	2016年度 第3四半期累計	2017年度 第3四半期累計	対前年同期	
売上収益	13,158	13,696	+537	+4.1%
Core Earnings	2,283	2,927	+644	+28.2%
営業利益	2,174	3,223	+1,049	+48.2%
当期利益	1,657	2,409	+752	+45.4%
EPS	212円	309円	+97円	+45.5%
ROE	8.4%	12.0%		+3.6pp
円/ドル	107円	112円	+4円	+4.2%
円/ユーロ	119円	128円	+9円	+7.4%



## 実質的なCore Earningsは32.8%増益、力強い売上収益と利益率の向上を反映

### 2017年度第3四半期累計 損益計算書（実質ベース）

(億円)	2016年度 第3四半期累計	2017年度 第3四半期累計	対前年同期	
売上収益	12,403	13,230	+827	+6.7%
売上総利益	8,591	9,472	+880	+10.2%
対売上収益比率	69.3%	71.6%		+2.3pp
営業経費	△6,613	△6,845	△232	△3.5%
対売上収益比率	53.3%	51.7%		+1.6pp
Core Earnings	1,978	2,626	+648	+32.8%
対売上収益比率	15.9%	19.9%		+3.9pp
Core当期利益	1,608	2,022	+414	+25.8%
Core EPS	206円	259円	+53円	+25.8%



## 成長ドライバーは力強い+14.5%の売上成長

### 2017年度第3四半期累計 実質的な売上収益の成長







成長ドライバー	消化器系疾患	+23.7%
	オンコロジー	+13.8%
	ニューロサイエンス	+26.4%
	新興国事業	+1.9%
	<b>合計</b>	<b>+14.5%</b>

タケダ連結売上に占める成長ドライバーの比率：61%



## 主力製品の力強い売上実績

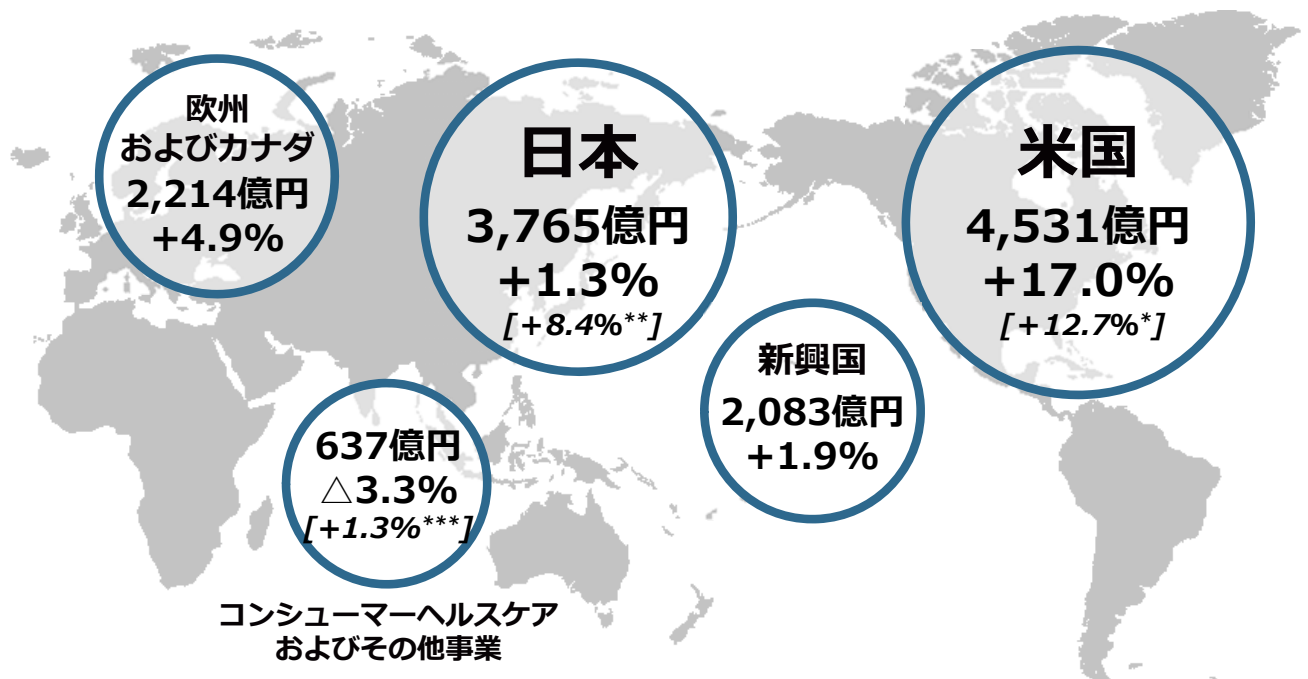
2017年度第3四半期累計 実質的な成長

		億円	対前年同期
消化器系疾患	 vedolizumab	1,461	+38.6%
		420	+70.5%
オンコロジー	 (ixazomib) capsules	339	+58.6%
	 brentuximab vedotin	282	+26.2%
	 BRIGATINIB 30mg TABLETS	15	N/A (2017年5月上市)
ニューロサイエンス	 vortioxetine tablets	370	+57.2%



## 米国の2桁台の成長が実質的な売上収益を牽引

2017年度第3四半期累計 実質的な売上収益: 1兆3,230億円 +6.7%



\* アリアド社のポートフォリオ (ALUNBRIG、アイクルシグ) を除いた場合は+12.7%

\*\* 返還したポートフォリオ (ブレベナー、ベネフィクス) を除いた場合は+8.4%

\*\*\* 返還したポートフォリオ (ビオフェルミン (OTC製品)) を除いた場合は+1.3%



## グローバル経費削減イニシアチブのスポットライト 出張および会議費用（対象の15%を占める）

### Findings:



- 製薬業界内で第4クォーター
- 約50%の出張は出発2週間前以内に予約
- 約50%の宿泊は推奨ホテル以外を利用
- 社内会議施設の低い稼働率
- 社内会議のコスト管理や明確な方針の未整備

### Key Achievements:



- 新たに強化された方針を策定
- 方針の遵守によるコスト削減の顕在化
- グローバルに統一した旅行代理店により全社員の90%をカバー
- バーチャル会議の利用率が前年同期比20%増加し、出張や社内会議コストの削減に貢献
- \$5,000以上のイベントをウェブシステムによりプロキュアメント・チームが管理
- 出張と社内会議費用の2018年度予算は2016年のベースラインから30%以上のコスト削減

**GOAL:** 製薬業界内第2クォーターに改善、最終的には第1クォーター入り



## 営業フリー・キャッシュ・フローは25.1%増加

### 2017年度第3四半期累計 キャッシュフロー計算書

(億円)	2016年度 第3四半期累計	2017年度 第3四半期累計	対前年同期	
当期利益	1,680	2,407	+727	+43.2%
減価償却費、償却費及び減損損失	1,475	1,278	△198	
運転資本増減（△は増加）	△623	△697	△74	
法人税等の支払額	△101	△117	△16	
その他*	△655	△512	+143	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,777	2,359	+582	+32.7%
有形固定資産の取得と売却**	△407	△459	△52	
無形資産の取得***	△154	△379	△225	
営業フリー・キャッシュ・フロー	1,216	1,521	+305	+25.1%

- ノン・コア資産の売却により、さらに1,429億円のキャッシュを創出
- 純有利子負債/EBITDA倍率は2016年度末の2.7倍から1.9倍に低下

次の項目は上記のキャッシュ・フロー計算書から控除しています。

\* Unipharm社との取引（2016年度第3四半期累計）エスクロー口座への408億円の支払い（2017年度第3四半期累計）エスクロー口座からの支払いに伴い発生した162億円の収入（投資活動CFの同額の支出も控除）

\*\*（2017年度第3四半期累計）不動産の売却収入319億円

\*\*\*（2016年度第3四半期累計）将来ロイヤリティ支払いにかかる権利を買い戻した157億円の支払い（2017年度第3四半期累計）将来ロイヤリティ支払いにかかる権利を買い戻した166億円の支払い



## 年間のガイダンスは重要アイテムをアップデート

### 売上収益

- ベルケイドの売上予測は250億円上方修正し1,310億円

### テバ社との合併会社（ノン・キャッシュ・アイテム）

- 第3四半期の持分法投資損益は合併会社の減損損失の持分割合△357億円を含む
- 第3四半期に長期収載品の繰延事業譲渡益の実現額217億円を計上

### 米国の税制改革（ノン・キャッシュ・アイテム）

- 第3四半期に繰延税金負債の再評価に伴う取崩益251億円を計上
- 第4四半期は為替換算調整（CTA）の実現にかかる損失△250億円を見込む  
（為替レートにより影響額は幅広く変動する可能性あり）



## ベルケイドの増収増益影響を踏まえマネジメントガイダンスを上方修正

	2017年度マネジメントガイダンス (成長率 %)		
	前回公表ガイダンス 2017年11月1日	今回公表ガイダンス 2018年2月1日	
実質的な売上収益	1桁台前半	1桁台半ば	↑
実質的なCore Earnings	10%台後半	20%台後半	↑
実質的なCore EPS	10%台半ば	20%台半ば	↑
1株当たり年間配当金	180円	180円	＝



## 年間の売上・利益予想を上方修正

### 2017年度今回公表予想（財務ベース）対 前回公表予想

(億円)	前回公表予想	今回公表予想	増減		
	2017年11月1日	2018年2月1日			
売上収益	17,200	17,450	+250	+1.5%	ベルケイド +250
研究開発費	△3,150	△3,150	-	-	
<b>Core Earnings</b>	<b>2,675</b>	<b>2,895</b>	<b>+220</b>	<b>+8.2%</b>	
無形資産償却費および減損損失	△1,475	△1,475	-	-	
その他の営業収益/費用*	800	767	△33	△4.1%	追加的な長期収載品の事業譲渡益 +217、 為替換算調整（CTA）の実現にかかる損失 △250
<b>営業利益</b>	<b>2,000</b>	<b>2,187</b>	<b>187</b>	<b>+9.4%</b>	
税引前当期利益	2,100	1,930	△170	△8.1%	テバ社との合併会社の持分法投資損失 （減損損失部分）△357
当期利益	1,520	1,573	+53	+3.5%	米国の税制改革 +251
EPS	195 円	201 円	+7 円	+3.5%	
円/ドル	112 円	112 円	0 円	△0.2%	
円/ユーロ	129 円	130 円	+1 円	+0.4%	

\* 非正常項目を含む



## 2017年度の財務ベースEPSは37%伸長の見通し

### 2017年度今回公表予想（財務ベース）対 2016年度実績

(億円)	2016年度	2017年度	増減		2017年度公表予想の修正前提条件（億円）
	実績	今回公表予想			
売上収益	17,321	17,450	+129	+0.7%	製品等に係る無形資産償却費および減損損失 ・ 無形資産償却費 △1,250 ・ 減損損失 △225
研究開発費	△3,123	△3,150	△27	△0.9%	
<b>Core Earnings</b>	<b>2,451</b>	<b>2,895</b>	<b>+444</b>	<b>+18.1%</b>	その他の営業収益/費用 ・ 和光純薬の株式売却益 1,063 ・ 不動産売却益 160 ・ 長期収載品の事業譲渡益 60 ・ 追加的な長期収載品の事業譲渡益 217 ・ グローバル経費削減イニシアチブ/その他 △230 ・ 研究開発体制の変革にかかる導入費用 △140 （合計予算額は△540億円） ・ アリアド社にかかる一時費用 △50 ・ コルクリスにかかる条件付対価 △75 ・ 為替換算調整の実現にかかる損失 △250
無形資産償却費および減損損失	△1,567	△1,475	+92	+5.9%	
その他の営業収益/費用*	675	767	+92	+13.7%	
<b>営業利益</b>	<b>1,559</b>	<b>2,187</b>	<b>+628</b>	<b>+40.3%</b>	
税引前当期利益	1,433	1,930	+497	+34.6%	金融収益 投資有価証券の売却益 300 テバ社との合併会社の持分法投資損失 （減損損失部分）△357 米国の税制改革 251
当期利益	1,149	1,573	+424	+36.9%	
EPS	147 円	201 円	+54 円	+36.9%	
円/ドル	109 円	112 円	+3 円	+2.3%	
円/ユーロ	120 円	130 円	+10 円	+8.6%	

\* 非正常項目を含む





## 一時的収益費用の発生タイミングによる営業利益への影響

- 第3四半期までに一時的な売却収益を計上  
(キャッシュ・アイテム)

- テバ社との合併会社への追加的な長期収載品の売却
- 和光純薬株式の売却
- 不動産の売却

(億円)	
第3四半期累計	第4四半期見込
1,369	なし

- 第3四半期までに一時的なノン・キャッシュ収益を計上

- 長期収載品の繰延事業譲渡益の実現額

第3四半期累計	第4四半期見込
217	なし

- 一時的費用の発生タイミング

- 事業構造再編費用
- 製品等にかかる減損損失
- 為替換算調整の実現にかかる損失

第3四半期累計	第4四半期見込
△197	△223
150	△375
なし	△250



## その他のゴール

ゴール	目標	進捗状況	修正目標
• 実質的なCEの対売上収益比率	+100-200bps	+390bps	約300bps
• 不動産の売却	600億円	369億円	814億円
• 投資有価証券の売却	700億円	215億円	800億円

### 主な変更内容

- **現東京本社の売却**：譲渡価額495億円、2018年度第4四半期に完了予定
- **投資有価証券の売却**：2017年度の売却益300億円（税引前）（見込み）、2018年度以降は損益計算書における売却益の計上はなし（IFRS第9号）



## 業績は引き続き好調に推移し2桁台の利益成長

- **優先事項の着実な進捗**
  - Grow Portfolio (事業ポートフォリオの成長)
  - Rebuild Pipeline (研究開発パイプラインの再構築)
  - Boost Profitability (利益率の向上)
- **売上と利益の力強い成長**
  - 実質的な売上収益 +6.7%
  - 実質的なCore Earnings +32.8%
  - 実質的なCore EPS +25.8%
- **営業フリー・キャッシュ・フローは+25.1%の1,521億円、ノン・コア資産の売却により、さらに1,429億円のキャッシュを創出**
- **年間のガイダンスを上方修正、実質的なCore Earningsの対売上収益比率は約300bpsの向上を見込む**



## Appendix



# 2017年度の重要な研究開発マイルストーン

疾患領域	開発品	予定されるイベント	
オンコロジー (がん)	Ninlaro	再発・難治性の多発性骨髄腫 全生存期間 (OS) データ中間解析結果(H2)	🟢 中間解析を実施、IDMCの推奨に基づき二重盲検下で最終解析まで試験を継続
	Adcetris	再発性皮膚T細胞性リンパ腫 欧州申請 (H1)	🟢
		再発性皮膚T細胞性リンパ腫 欧州承認 (H2)	🟢
		ホジキンリンパ腫 (フロントライン適応) 欧州申請 (H2)	🟢
	Alunbrig	非小細胞肺癌 米国承認 (H1)	🟢
Pevonedistat	高リスク骨髄異形成症候群/慢性骨髄単球性白血病/低プラスト急性骨髄性白血病 Ph-2 中間解析結果 (H1)	🟢	
	高リスク骨髄異形成症候群/慢性骨髄単球性白血病/低プラスト急性骨髄性白血病 ビボタル Ph-3試験開始 (2017年12月18日に患者登録開始)	🟢	
消化器系疾患	Entyvio	潰瘍性大腸炎 日本Ph-3試験の結果判明 (H2)	🟢
	Cx601 (Darvadstrocel)	クローン病に伴う肛門複雑瘻孔 欧州承認 (H2)	
	TAK-954	経腸栄養不耐性 Ph-2b試験開始 (H2)	
ニューロサイエンス (神経精神疾患)	Trintellix	認知機能のラベルについてFDAとの対話を継続	⚠️ 2017年6月 CRL受領
	Rasagiline	パーキンソン病 日本申請 (H1)	🟢
ワクチン	TAK-003	デング熱ワクチン Ph-3 「TIDES試験」の被験者組み入れ完了 (H1)	🟢
	TAK-214	ノロウイルスワクチン 成人を対象としたPh-2b試験の結果判明 (H2)	➡️ FY2018 H1*
	TAK-426	ジカウイルスワクチンのPh-1試験開始 (H2)	🟢

表中の研究開発マイルストーンは一部であり、包括的なものではありません。タイムラインは現在想定しているものであり、変更の可能性があります。

21 IDMC: Independent Data Monitoring Committee (独立データモニタリング委員会); CRL: Complete Response Letter (審査完了報告通知)

武田薬品工業株式会社

\*データ取得のタイミングはノロウイルスによる急性胃腸炎の発症数によります。なお、試験開始以降、2回目のノロウイルス感染の流行時期が始まっています。

# 2017年度はこれまでに13の新規候補物質がステージアップ



	臨床第1相試験	臨床第2相試験	臨床第3相試験/申請中	ライフサイクル・マネジメント (LCM)
オンコロジー (がん)	TAK-202 CCR2 antagonist Solid Tumors	TAK-243 UAE inhibitor Solid Tumors	sapanisertib mTORC 1/2 inhibitor Breast cancer	NINLARO® Proteasome inhibitor MM R/R (EM), R/R Amyloidosis, Front Line MM, R/R Myeloma doublet regimen, Maintenance MM post-SCT Maintenance MM w/o SCT
	TAK-573 Teva Anti-CD38-antennupline Refractory MM	TAK-580 pan-RAF kinase Solid Tumors	TAK-659 SYK inhibitor DLBCL	ADCESTRIS® Seattle Genetics CD30 ADC FL HL, FL MTC, CTCL
	TAK-788 EGFR/HER2 inh NSCLC	XMT-1522 Mersano Therapeutics HER2 dotamifexin ADC HER2 positive solid tumors	TAK-931 CDC7 inhibitor Solid Tumors	ALUNBRIG® (brigatinib) ALK inhibitor ALK+NSCLC (EU), FL ALK+ NSCLC
			pevonedistat NAE inhibitor HR MDS	ICLUSIG® BCR-ABL inhibitor Imatinib resistant Chronic Phase CML Second-Line Chronic Phase CML, Ph+ ALL
				cabozantinib Exelixis VEGFR/RET inhibitor Solid tumors (JP)
	消化器系疾患		TAK-906 D2/D3R Antagonist Gastroparesis	CX601 (darvadstrocel) TiGenix mesenchymal stem cells Perianal Fistulas in CD
		TAK-954 Aravance Biopharma 5-HT4R ag Central Feeding Intolerance		Vonoprazan PCAB ARD (Asia), NERD (JP) PPI Partial Responder
				AMITIZA® Sucampo Chloride channel activator Pediatric constipation, New formulation
				TRINTELLIX™ Lundbeck Multimodal anti-depressant Cognition data in label (CRL received) MDD (JP)
ニューロサイエンス (神経精神疾患)	TAK-041 GPR139 agonist CIAS neg. symptoms	TAK-058 5-HT3 antagonist CIAS	TAK-935 vid Therapeutics CH24H inhibitor Rare Pediatric Epilepsies	Rasagiline Teva MAOB inhibitor Parkinson's (JP)
	TAK-071 M1PAM AD	TAK-418 LSD1 inhibitor Kabuki Syndrome	TAK-831 DAAO inhibitor SCZ, Ataxia	
	TAK-653 AMPA potentiator TRD	TAK-925 Orexin 2R agonist Narcolepsy		
ワクチン	TAK-021 EV71 Vaccine	TAK-426 BARDA Zika Vaccine	TAK-195 ates Foundation inactivated Polio Vaccine	
			TAK-214 Norovirus Vaccine	
			TAK-003 Dengue Vaccine	
その他	TAK-079 Anti-CD38 mAb SLE	TAK-020 BTX inhibitor RA	namilumab Amgen GM-CSF RA	relugolix Myovant GNRH antagonist UF, Endometriosis, Prostate Cancer
			TAK-272 SCOHIA Pharma Direct renin inhibitor Diabetic Nephropathy	

🟢 2017年4月1日以降のステージアップ



# Coreと「実質的な成長」の定義

## Coreの概念

**Core Earnings**は、売上総利益から、販売費及び一般管理費、および、研究開発費を控除して算出します。さらに、non-coreの性質で金額の大きい影響を調整します。ここには、自然災害の影響、企業買収に係る会計処理の影響、主な訴訟費用、事業構造再編費用、政府による法令変更の影響などが含まれます。説明責任及び信頼性を保証するため、これらを控除する際の金額基準は「10億円以上」と高く設定しています。

**Core EPS**の算出にあたっては、Core Earningsから、営業利益以下の各科目のうち、non-coreの性質で金額の大きい影響（10億円以上）を調整します。ここには、条件付対価に係る公正価値変動影響などが含まれます。さらに、これらにかかる税金影響に加え、上記のCore Earnings調整にかかる税金影響を合わせて調整します。

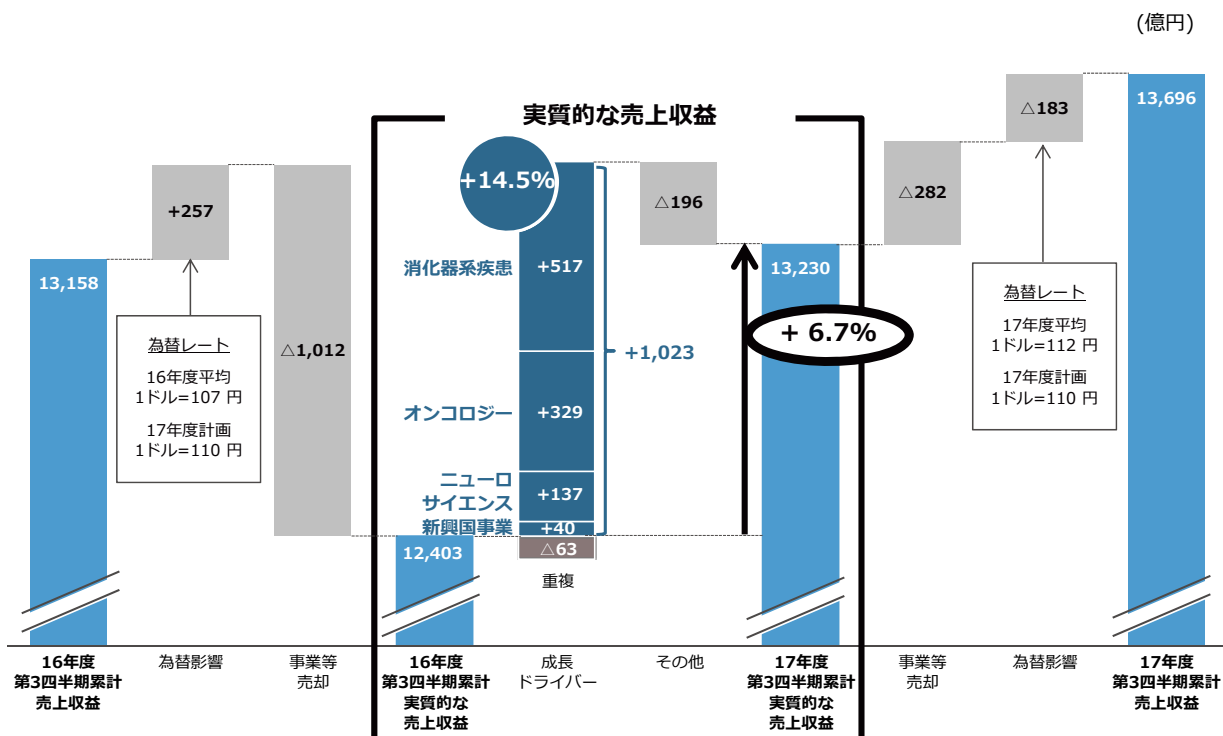
## 実質的な成長

実質的な成長とは、持続的な事業活動のパフォーマンスを実質的に把握する目的で、当期と前年同期（四半期あるいは年間）の業績を共通の基準で比較するものです。このため、各期間を共通の為替レートで換算し、また、事業等の売却影響を調整します。

**共通の為替レート**：グローバルに事業を展開している当社の業績は、様々な通貨の為替レート変動による影響を受けます。従って、異なる期間の業績比較は、換算に使用する為替レートの違いにより歪みが生じることがあります。このため、為替変動による影響を排除して業績の比較を容易にし、実質的な成長を把握するため、共通の為替レート（CER: Constant Exchange Rates）を異なる期間それぞれに適用します。これには通常、当期の計画レートを使用します。

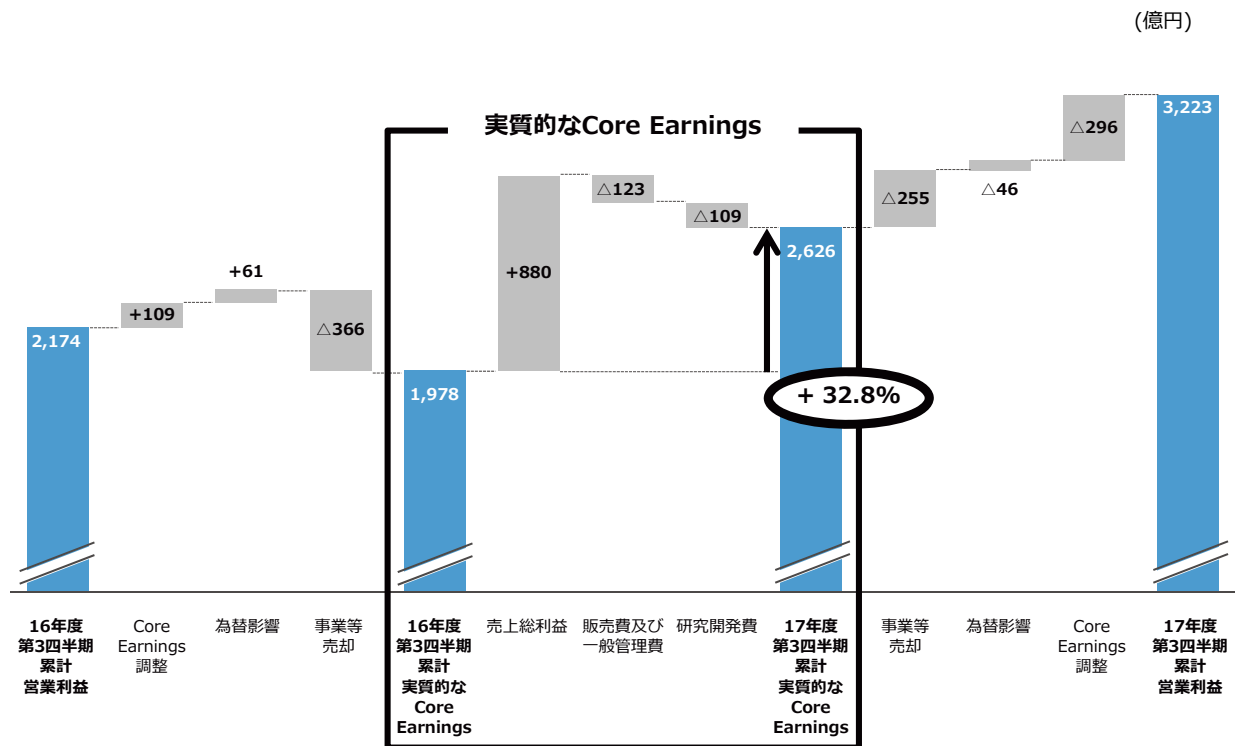


# （第3四半期累計）実質的な売上収益は成長ドライバーが牽引し+6.7%の成長

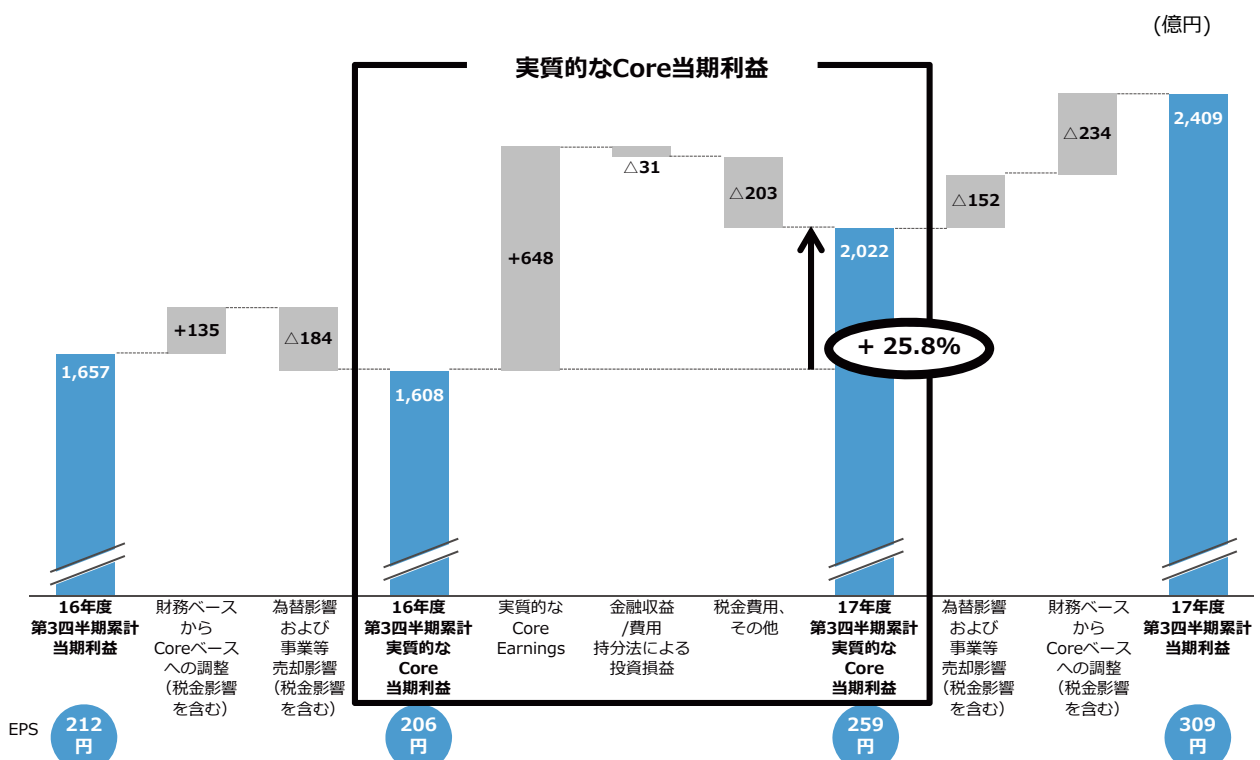




# (第3四半期累計) 実質的なCore Earningsは+32.8% 量ベースの伸びと製品構成が貢献



# (第3四半期累計) 実質的なCore当期利益とEPSは+25.8% Core Earnings の増益が貢献





## 損益計算書（財務ベース）2017年度第3四半期累計

(億円)	2016年度	2017年度	対前年同期	
	第3四半期累計	第3四半期累計		
売上収益	13,158	13,696	+537	+ 4.1%
売上総利益	8,915	9,845	+930	+ 10.4%
対売上収益比率	67.8%	71.9%		+4.1pp
販売費及び一般管理費	△4,394	△4,563	△170	△ 3.9%
研究開発費	△2,238	△2,367	△129	△ 5.7%
非正常項目	-	11		
<b>Core Earnings</b>	<b>2,283</b>	<b>2,927</b>	<b>+644</b>	<b>+ 28.2%</b>
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△1,022	△863	+158	+ 15.5%
その他の営業収益/費用	913	1,171	+258	+ 28.3%
非正常項目（振り戻し）	-	△11		
営業利益	2,174	3,223	+1,049	+ 48.2%
対売上収益比率	16.5%	23.5%		+7.0pp
金融収益/費用	△82	△11	+72	+ 87.2%
持分法による投資損益	△4	△333	△330	NA
税引前当期利益	2,088	2,879	+791	+ 37.9%
法人所得税費用	△408	△472	△64	△ 15.7%
非支配持分	△24	2	+26	NA
当期利益	1,657	2,409	+752	+ 45.4%
EPS	212 円	309 円	+97 円	+ 45.5%



## 損益計算書（財務ベース）2017年度第3四半期

(億円)	2016年度	2017年度	対前年同期	
	第3四半期	第3四半期		
売上収益	4,650	4,882	+231	+ 5.0%
売上総利益	3,176	3,459	+283	+ 8.9%
対売上収益比率	68.3%	70.9%		+2.6pp
販売費及び一般管理費	△1,484	△1,591	△106	△ 7.2%
研究開発費	△718	△816	△97	△ 13.5%
非正常項目	-	4		
<b>Core Earnings</b>	<b>973</b>	<b>1,056</b>	<b>+83</b>	<b>+ 8.6%</b>
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△265	△295	△30	△ 11.3%
その他の営業収益/費用	△155	122	+276	NA
非正常項目（振り戻し）	-	△4		
営業利益	554	879	+326	+ 58.9%
対売上収益比率	11.9%	18.0%		+6.1pp
金融収益/費用	△20	8	+28	NA
持分法による投資損益	5	△338	△343	NA
税引前当期利益	538	549	+11	+ 2.0%
法人所得税費用	△114	131	+245	NA
非支配持分	△11	1	+11	NA
当期利益	414	681	+267	+ 64.6%
EPS	53 円	87 円	+34 円	+ 64.5%



## 財務ベース売上収益から実質的な売上収益への調整

(億円)	第3四半期				第3四半期累計			
	2016年度	2017年度	対前年同期		2016年度	2017年度	対前年同期	
<b>売上収益</b>	<b>4,650</b>	<b>4,882</b>	<b>+231</b>	<b>+ 5.0%</b>	<b>13,158</b>	<b>13,696</b>	<b>+537</b>	<b>+ 4.1%</b>
為替影響*	132	△105		△5.1pp	257	△183		△3.4pp
<b>為替影響*除き売上収益</b>	<b>4,782</b>	<b>4,777</b>	<b>△5</b>	<b>△ 0.1%</b>	<b>13,415</b>	<b>13,513</b>	<b>+97</b>	<b>+ 0.7%</b>
事業等の売却影響**	△347	△49		+6.7pp	△1,012	△282		+5.9pp
和光純薬	△205	-			△584	-		
テバJVへの長期収載品	△63	△32			△196	△229		
呼吸器系疾患領域事業	△3	△18			△53	△18		
コントレイブ	△4	-			△95	-		
TAK-935	-	-			-	△35		
TAK-385 (relugolix)	△64	-			△64	-		
その他	△9	-			△20	-		
<b>実質的な売上収益</b>	<b>4,435</b>	<b>4,727</b>	<b>+293</b>	<b>+ 6.6%</b>	<b>12,403</b>	<b>13,230</b>	<b>+827</b>	<b>+ 6.7%</b>

\* 為替影響は、前期および当期に、17年度の計画レート (1ドル=110円, 1ユーロ=120円)を適用して算出しています。

\*\* 事業等の売却影響の前期には、主に和光純薬の前期の売上収益と2017年5月にテバ社との合併会社に売却した長期収載品にかかる前期の売上を含めています。

また、当期には、主に当該長期収載品にかかる当期の一時的な売却益などを含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイトに掲載のエクセル調整表をご参照ください。



## 営業利益から実質的なCore Earningsへの調整

(億円)	第3四半期				第3四半期累計			
	2016年度	2017年度	対前年同期		2016年度	2017年度	対前年同期	
<b>営業利益</b>	<b>554</b>	<b>879</b>	<b>+326</b>	<b>+ 58.9%</b>	<b>2,174</b>	<b>3,223</b>	<b>+1,049</b>	<b>+ 48.2%</b>
無形資産の償却費および減損損失	265	295	+30		1,022	863	△158	
その他の営業収益/費用	155	△122	△276		△913	△1,171	△258	
非正常項目	-	4	+4		-	11	+11	
<b>Core Earnings</b>	<b>973</b>	<b>1,056</b>	<b>+83</b>	<b>+ 8.6%</b>	<b>2,283</b>	<b>2,927</b>	<b>+644</b>	<b>+ 28.2%</b>
為替影響*	20	△25	△45		61	△46	△106	
事業等の売却影響**	△141	△31	+111		△366	△255	+111	
和光純薬	△26	-	+26		△54	-	+54	
テバJVへの長期収載品	△61	△14	+47		△189	△203	△14	
呼吸器系疾患領域事業	14	△17	△31		△22	△17	+5	
コントレイブ	0	-	△0		△28	-	+28	
TAK-935	-	-	-		-	△35	△35	
TAK-385 (relugolix)	△64	-	+64		△64	-	+64	
その他	△5	-	+5		△8	-	+8	
<b>実質的な Core Earnings</b>	<b>852</b>	<b>1,001</b>	<b>+149</b>	<b>+ 17.5%</b>	<b>1,978</b>	<b>2,626</b>	<b>+648</b>	<b>+ 32.8%</b>

\* 為替影響は、前期および当期に、17年度の計画レート (1ドル=110円, 1ユーロ=120円)を適用して算出しています。

\*\* 事業等の売却影響の前期には、主に和光純薬の前期の営業利益と2017年5月にテバ社との合併会社に売却した長期収載品にかかる前期の利益を含めています。

また、当期には、主に当該長期収載品にかかる当期の一時的な売却益などを含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイトに掲載のエクセル調整表をご参照ください。



## 当期利益から実質的なCore当期利益への調整

(億円)	第3四半期				第3四半期累計			
	2016年度	2017年度	対前年同期		2016年度	2017年度	対前年同期	
<b>当期利益</b>	<b>414</b>	<b>681</b>	<b>+267</b>	<b>+ 64.6%</b>	<b>1,657</b>	<b>2,409</b>	<b>+752</b>	<b>+ 45.4%</b>
<b>EPS</b>	<b>53 円</b>	<b>87 円</b>	<b>+34 円</b>	<b>+ 64.5%</b>	<b>212 円</b>	<b>309 円</b>	<b>+ 97 円</b>	<b>+ 45.5%</b>
無形資産の償却費および減損損失	175	212	+37		683	613	△70	
その他の営業収益/費用	108	△86	△194		△617	△786	△170	
投資有価証券の売却益	—	△43	△43		△0	△111	△110	
その他の非定常項目の調整	5	△4	△10		68	49	△20	
<b>Core当期利益</b>	<b>702</b>	<b>760</b>	<b>+57</b>	<b>+ 8.2%</b>	<b>1,792</b>	<b>2,175</b>	<b>+383</b>	<b>+ 21.4%</b>
為替影響*	22	△1	△22		73	25	△48	
事業等の売却影響**	△105	△22	+83		△257	△177	+80	
<b>実質的なCore当期利益</b>	<b>619</b>	<b>737</b>	<b>+118</b>	<b>+ 19.1%</b>	<b>1,608</b>	<b>2,022</b>	<b>+414</b>	<b>+ 25.8%</b>
<b>実質的なCore EPS</b>	<b>79 円</b>	<b>94 円</b>	<b>+15 円</b>	<b>+ 19.1%</b>	<b>206 円</b>	<b>259 円</b>	<b>+ 53 円</b>	<b>+ 25.8%</b>

\* 為替影響は、前期および当期に、17年度の計画レート (1ドル=110円, 1ユーロ=120円)を適用して算出しています。

\*\* 事業等の売却影響の前期には、主に和光純薬の前期の当期利益と2017年5月にテバ社との合併会社に売却した長期収載品にかかる前期の利益を含めています。また、当期には、主に当該長期収載品にかかる当期の一時的な売却益などを含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイトに掲載のエクセル調整表をご参照ください。



## 損益計算書 (実質ベース) 2017年度第3四半期累計

(億円)	2016年度	2017年度	対前年同期	
	第3四半期累計	第3四半期累計		
<b>実質的な売上収益</b>	<b>12,403</b>	<b>13,230</b>	<b>+827</b>	<b>+ 6.7%</b>
<b>実質的な売上総利益</b>	<b>8,591</b>	<b>9,472</b>	<b>+880</b>	<b>+ 10.2%</b>
対売上収益比率	69.3%	71.6%		+2.3pp
販売費及び一般管理費	△4,382	△4,505	△123	△ 2.8%
研究開発費	△2,231	△2,340	△109	△ 4.9%
<b>実質的なCore Earnings</b>	<b>1,978</b>	<b>2,626</b>	<b>+648</b>	<b>+ 32.8%</b>
対売上収益比率	15.9%	19.9%		+3.9pp
金融収益/費用	△35	△59	△24	△ 68.6%
持分法による投資損益	64	57	△7	△ 10.9%
<b>実質的なCore税引前当期利益</b>	<b>2,007</b>	<b>2,624</b>	<b>+618</b>	<b>+ 30.8%</b>
法人所得税費用	△390	△604	△214	+ 54.9%
非支配持分	△9	2	+11	NA
<b>実質的なCore当期利益</b>	<b>1,608</b>	<b>2,022</b>	<b>+414</b>	<b>+ 25.8%</b>
<b>実質的なCore EPS</b>	<b>206 円</b>	<b>259 円</b>	<b>+53 円</b>	<b>+ 25.8%</b>





## 損益計算書（実質ベース）2017年度第3四半期

(億円)	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	対前年同期	
実質的な売上収益	4,435	4,727	+293	+ 6.6%
実質的な売上総利益	3,078	3,358	+280	+ 9.1%
対売上収益比率	69.4%	71.0%		+1.6pp
販売費及び一般管理費	△1,503	△1,556	△53	△ 3.5%
研究開発費	△723	△801	△78	△ 10.8%
実質的なCore Earnings	852	1,001	+149	+ 17.5%
対売上収益比率	19.2%	21.2%		+2.0pp
金融収益/費用	△13	△25	△13	NA
持分法による投資損益	11	30	+20	NA
実質的なCore税引前当期利益	850	1,006	+156	+ 18.3%
法人所得税費用	△227	△269	△42	△ 18.5%
非支配持分	△4	1	+5	NA
実質的なCore当期利益	619	737	+118	+ 19.1%
実質的なCore EPS	79 円	94 円	+15 円	+ 19.1%



## テバ社との合併会社にかかる会計・損益影響（第3四半期累計）

2017年度第3四半期累計の実質的な税引前当期利益影響：122億円

- 事業譲渡・製品売却にかかる実質的な持分法投資損益：56億円
- 製品供給・流通取引にかかる実質的な利益：67億円

(億円)	事業譲渡・製品売却		製品供給・流通取引		合計	
	財務 ベース	実質 ベース	財務 ベース	実質 ベース	財務 ベース	実質 ベース
売上収益	153		153	118	306	118
長期収載品7製品の売却*	145				145	
長期収載品7製品にかかる繰延収益*	8				8	
製品供給・流通にかかる売上収益			153	118	153	118
Core Earnings	153		93	67	246	67
その他の営業収益	263				263	
長期収載品の繰延事業譲渡益の実現額（償却費部分）**	46				46	
長期収載品の繰延事業譲渡益の実現額（減損損失部分）**	217				217	
持分法による投資損益	△335	56			△335	56
長期収載品にかかる無形資産償却費	△34				△34	
減損損失	△357				△357	
通常の事業活動	56	56			56	56
税引前当期利益	81	56	93	67	174	122

\* 長期収載品7製品の売却益合計285億円のうち、51%（145億円）は2017年5月に売上収益認識、残りの49%は12年にわたり繰延認識。

\*\* 2016年4月に長期収載品事業の事業譲渡益の51%（1,029億円）をその他の営業収益に計上、残りの49%は15年にわたり繰延認識。



## 無形資産償却費および減損損失の見通し

(億円)	2016年度	2017年度	将来
無形資産の償却費	△1,125	△1,250	
ナイコメッド	△363	△390	資産の大半を2026年度までに償却
ミレニアム	△485	△400	ベルケイドは2017年度中に償却終了、 2018年度は20億円で減少
アリアド	△17	△200	Alunbrigのファーストライン承認取得後、 約150億円増加
減損損失	△443	△225	減損損失は第4四半期に多く発生
無形資産償却費および減損損失	△1,567	△1,475	



## 純有利子負債/EBITDA倍率は1.9倍に低下 ノン・コア資産の売却は1,429億円のキャッシュを創出

### 2017年度第3四半期累計 キャッシュ関連

(億円)	2016年度 第4四半期	2017年度 第3四半期累計	
営業フリー・キャッシュ・フロー		1,521	
不動産の売却		369	} 1,429
和光純薬株式売却		845	
その他投資有価証券売却		215	
配当金		△ 1,354	
その他		△ 388	
現金の増減額 (△は減少)		1,208	
有利子負債	△ 11,449	△ 11,385	
純有利子負債	△ 8,243	△ 6,982	
有利子負債/EBITDA倍率	3.7 x	3.1 x	
純有利子負債/EBITDA倍率	2.7 x	1.9 x	



# 2017年度実質的な成長ガイダンスの2016年度ベースライン

(億円)	2016年度
売上収益	17,321
為替影響*	+194
事業等の売却影響 – 和光純薬の連結除外影響	△791
事業等の売却影響 – テバJVへの追加LLP売却の減収影響	△242
事業等の売却影響 – その他	△260
実質的な売上収益	16,221
営業利益	1,559
無形資産償却費および減損損失	+1,567
その他の営業収益	△1,435
その他の営業費用	+729
非正常項目	+32
Core Earnings	2,451
為替影響*	+53
事業等の売却影響 – 和光純薬、テバJV等	△460
実質的なCore Earnings	2,044
対売上収益比率	12.6%
実質的なCore税率	26.0%
実質的なCore EPS (円)	192

\* 同一為替レート（17年度計画レートの1ドル=110円、1ユーロ=120円等）を適用し影響額を算出しています。

(注) 現時点の前提に基づいています。2017年度の発生事実によっては、16年度ベースラインを再計算する可能性があります。



## 略語用語集

ALK	anaplastic lymphoma kinase 未分化リンパ腫キナーゼ	GI	gastrointestinal 胃腸	NERD	non-erosive reflux disease 非びらん性胃食道逆流症
AD	Alzheimer's disease アルツハイマー病	GvHD	graft versus host disease 移植片対宿主病	NSCLC	non-small cell lung cancer 非小細胞肺癌
ADC	antibody drug conjugate 抗体薬物複合体	H2H	head to head 直接比較	Ph+ ALL	Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia フィラデルフィア染色体陽性 ヒト急性リンパ性白血病
ADHD	attention deficit hyperactivity disorder 注意欠陥多動性障害	HER2	human epidermal growth factor receptor 2 ヒト上皮成長因子受容体2	R/R	relapsed/refractory 再発/難治
ARD	acid-related diseases 酸関連疾患	HL	Hodgkin's lymphoma ホジキンリンパ腫	RA	rheumatoid arthritis リウマチ性関節炎
BTK	Bruton's tyrosine kinase ブルトン型チロシンキナーゼ	HR MDS	high risk myelodysplastic syndromes 高リスク骨髄異形成症候群	RCC	renal cell cancer 腎細胞がん
CD	Crohn's disease クローン病	IBD	inflammatory bowel disease 炎症性腸疾患	SCT	stem cell transplant 幹細胞移植
CIAS	cognitive impairment associated with schizophrenia 統合失調症に伴う認知障害	IO	immuno-oncology がん免疫治療	SCZ	schizophrenia 統合失調症
CML	chronic myeloid leukemia 慢性骨髄性白血病	LBD	Lewy Body Dementia レビー小体病	SLE	systemic lupus erythematosus 全身性エリテマトーデス
CNS	central nervous system 中枢神経系	mAb	monoclonal antibodies モノクローナル抗体	SR	steroid refractory ステロイド難治性
CRL	complete response letter 審査完了報告通知	MAOB	monoamine oxidase B モノアミン酸化酵素B	SubQ	subcutaneous formulation 皮下投与製剤
CTCL	cutaneous T Cell Lymphoma 皮膚T細胞性リンパ腫	MDD	major depressive disorder 大うつ病性障害	TRD	treatment resistant depression 治療抵抗性うつ病
DLBCL	diffuse large B cell lymphoma びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	MCL	mantle cell lymphoma マンترل細胞リンパ腫	UC	ulcerative colitis 潰瘍性大腸炎
EGFR	epidermal growth factor receptor 上皮増殖因子受容体	MM	multiple myeloma 多発性骨髄腫		
FL ALK+	front line ALK-positive 未分化リンパ腫キナーゼ 陽性（フロントライン適応）	MTCL	mature T-cell lymphoma 成熟型T細胞リンパ腫		
FL HL	front line Hodgkin's lymphoma ホジキンリンパ腫（フロントライン適応）	Neg	negative 陰性		

*Better Health, Brighter Future*



武田薬品工業株式会社